

ていふんす
Feenstown
たん
もふし

こどもがつくる
こどものためのまち!

2022年秋開催 事業概要企画書

日時

2022年11月13日(日)

開催場所

コピス吉祥寺

対象

小学1年生～小学6年生 100名

主催

TeensTownむさしの実行委員会

協力

NPO法人プレシヤスネット



子どものまちは？

目的

子どもたちに
「まち」と「自分」を考える
きっかけを届けたい

- ①主体性を生かし、子どもが自分の手で作る
- ②地域(人や産業や文化等)に愛着を持つ
- ③社会の仕組みを学ぶ
- ④自己理解・キャリア教育

仕組みを

学ぶ

大学



仕事を

見つける

職安



給料を

貰

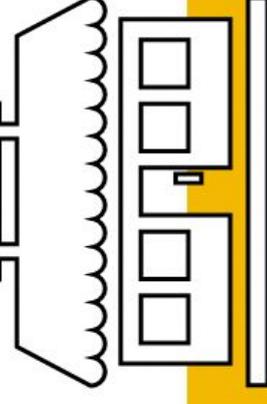
銀行



給料を

稼ぐ&使う

ブース



STEP2

こどものまち 本番

STEP1

店長会議(準備)

こども店長を募集し、社会の仕組みやお店作りを学び、多様な大人と関わりながら自分だけのお店を企画します。

日程	内容
7月	お店を知ろう
8月	まちを知ろう
9月	お店を企画しよう
10月	準備
本番前日	準備

子ども店長が考えたおみやげや、まちが実現します。さらに、学生スタッフの運営ブースや、近隣店舗とのコラボ企画等も検討します。

こども店長

店舗を運営。
参加した子をまとめます。

当日参加者

対象：小学生
「アルバイト」的立場

運営スタッフ

中高校生以上
子どもたちのサポート役
一部ブースの運営



※ワークショップは市内の会議室等で実施。

本番について

STEP2

こどものまち 本番

子ども店長が考えたおみせが実現します。さらに、学生スタッフによる運営ブースや、近隣店舗とのコラボ企画等も検討します。

	子どもブース	大人ブース
種類	モノ系(工作・飲食等) サービス系(新聞社・美容室) 公共系(市役所・銀行等)	
企画	こども	学生スタッフ
監修	TeensTown事務局	
ねらい	こどものやってみたい！を実現し、その過程で社会について学ぶ。	コンテントツ充実及び学生のキャリア支援のため
内容	子どものアイデアに柔軟に対応	子どもが懂れるブースや、大人が買いたくなるもの。
補足	・大人から子どもへの口出しは原則禁止です。 ・一般の方も各ブースで買い物ができるようにします。	

会場図(案)



※大人の入場は見学料(500円以内)

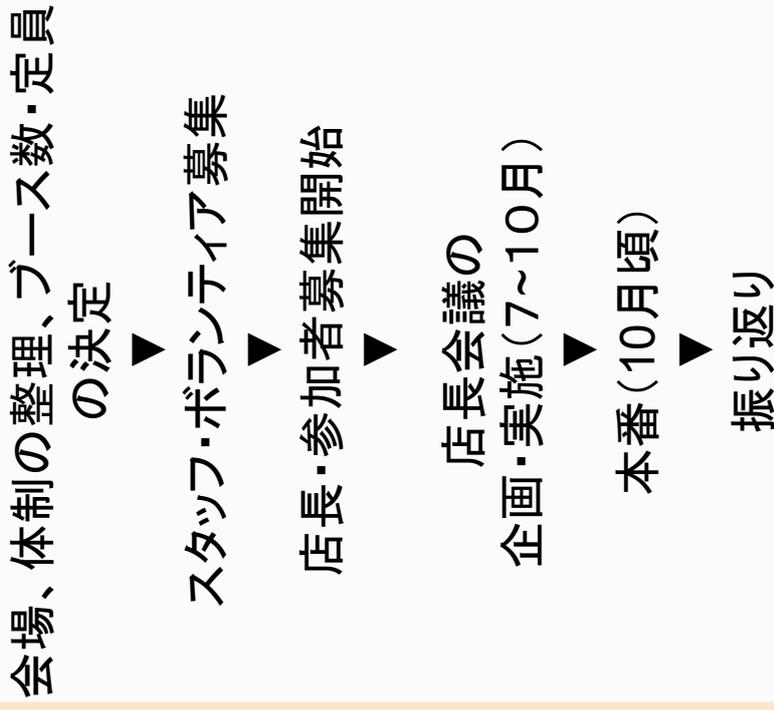
飲食ブースについて

- ・ドリンク、主食系、おやつ系の3種で考えています
- ・子どもと一緒に作業できるブースがあると嬉しいです。
- ・一般来場者向けに販売OKです。

【御相談】材料費・人件費等予算

実施計画・体制

実施までの計画



プレシャスネット様

- ・広報・会場様との調整等ご協力
- ・企画内容へのアドバイス・監修

コピス吉祥寺様

- ・会場のご提供
- ・参加者募集チラシ配架等へのご協力
- ・机、テント等の借用
- ・資材(ダンボールや空箱等のご提供)

TeensTownむさしの

- ・プロジェクト企画・運営
- ・ワークショップ(店長会議)運営
- ・上記にかかる広報・募集中用チラシや媒体作成
- ・調整

楽しさの恩返し

以前市内で実施されていた本イベントの前身であるむさしのミニタウン。地域の大人と子どもがみんなできることのまちに、当時小学生だったのは実行委員(店長)として関わりました。そこは、いろんな人と会える地域の居場所であり、本気で『まち』を考えうる貴重な時間でした。自分のが採用されたり、じっくり会議をしてもまとまらなかったり、時に失敗して学んだり。楽しかったことこのまを、今の子どもたちにも体験していただくプロジェクトです。

未来を生きる子ども達に参画の機会を

変化の早い現代を生きる子どもたち。様々な社会課題がある中で、持続可能な暮らしをするために、私たち一人一人の選択が問われていく。校や家庭では教えるにくい「主体的に考える力」や「市民性」を育む機会が地域に必要だと考えています。

地域の多世代がもつと交わる場所を

いま、子どもたちが育つ環境において、家・学校以外の誰かと気軽に話したり、他者の価値観や考え方を知る機会は多くありません。親や先輩的な「縦の関係」や友達同士の「横の関係」ではない、地域の「ななめの関係」を構築し、子どもたちの世界を広げたり、まちを一緒に考えはしていくことが大切だと考えています。

■ 大人は口出し禁止！

こどものまちに正解はありません。子どもの主体性を大事にするため、大人はなるべく口出しをしないにします。

他者とコミュニケーションをとりながら物事を進める大変さや、計画通りにいかないこと、失敗からの学びに重きを置いています。あるもので工夫したり、考えながらつくりかえていくプロセスを純粹に楽しむことが、学びにつながると考えています。

■ 地域の多様な人がかかわりながらつくるイベント

こどもの主体性にスポットライトを当てる。そんなイベント開催にあたって、まずは作り手である私たちの身はもちろん、関わる大人が受け身では始まりません。そのため、趣旨に賛同いただけの方と丁寧なコミュニケーションをとりながら、一緒に進めたいと考えています。

その中で、協力者の皆さんのもつこだわりやポテンシャルを生かし合いながら、武蔵野・吉祥寺でできないイベントをつくります。

また、イベントでつながったご縁やつながりを次年度の開催に生かし、地域の緩やかな顔の見える所をつくります。

感染対策について

感染対策について

- 以下の対策を講じます。
- ・手指消毒の徹底
- ・スタップ及び参加者のマスク着用（不織布マスクを推奨）
- ・体調不良者は参加をご遠慮いただくよう、アナウンスを実施
- ・定期的な消毒
- ・感染防止対策のご協力ポスター等の設置
- ・共有物品を減らす工夫をする。
- ・共有せざるを得ない場合、手袋等を着用して触れるようにする。
- ・複数の人の手が触れる場所を定期的に消毒する。
- ・アルコール等の設置。
- ・手洗い・手指消毒の徹底。

■感染が疑われる事案発生時の対応の

- ・当日現地にて、発熱や風邪の症状のこまめな確認は、コールセンターもしくは保健所に連絡する。
- ・【参加者が特定できる場合】参加者が終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された場合は主催者に連絡いただき依頼する。
- ・【参加者が特定できる場合】感染者発生を備え、参加者の連絡先情報を保存する